

春採湖生物多様性保全調査事業【北海道釧路市】

事例紹介

重点分野雇用創出事業

【環境・エネルギー分野】

春採湖は、釧路市の市街地に位置する周囲4.7km、面積36.1haの南西から東北に細長い形をしています。ヒブナ生息地として天然記念物に指定されており、市民の憩いの場となっています。

しかし、外来種であるウチダザリガニが持ち込まれたことで、水草の生育や鳥類・魚類の生息などに重大な影響が生じ、春採湖の自然環境が大きく変化しています。



代表取締役 濱口 憲二

事業概要

春採湖でのウチダザリガニ生息数の推定や水草の生育調査を行い、今後のウチダザリガニ捕獲事業の計画策定のための基礎資料の整備を目的とする。

委託先

環境コンサルタント株式会社
(本社:北海道釧路町)
従業員数73人

新たな
雇用創出数

4人

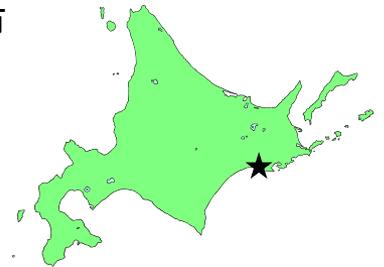
事業費

約877万円 (平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

釧路市



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

北海道	0.35倍 (常用)
HW釧路管内	0.33倍 (常用)

業務内容

春採湖のウチダザリガニ生息個体数の推定及び移動実態の把握調査

春採湖の水深を計測し、中央部及び水深毎のウチダザリガニ生息分布を推定するための調査

水草生育調査と増殖実験の実施

ゴミ回収による環境美化と保全



《 ウチダザリガニ 》

今後の就業につなげる工夫

主体性をもって事業が遂行できるよう、事業地の概況、事業背景と内容を理解し、定期的に調査方法、作業工程などの打合せを行うことで、環境調査方法や調査遂行能力を習得できる。

これまで、経験したことのない作業が多いため、貴重な経験になっている。作業をしていると、公園を訪れる方から作業について質問されることもあり、その都度作業内容の確認をし、習熟度を深めることができる。

仕事場所がヒブナの生息地として天然記念物に指定されている春採湖であること、特定外来生物のウチダザリガニに関する事業に携わったことで、自然環境や外来生物についての知識を得ることができる。

今後の姿と課題

今回の調査結果を基に、今後のウチダザリガニ捕獲事業を検討し、春採湖の生物多様性の保全を目指していきます。



指導担当者 濱 裕人さん

春採湖は市街地にありながら、とても自然の豊かな公園です。今後も春採湖の環境保全に役立つことができればと思います。

就労者の皆さんには、普段あまり経験できないことが多かったと思いますので、この経験をぜひ、今後にかけてもらいたいと思います。また、これを機に、身近な自然により愛着を持って接していただけたらうれしいです。



《水草生育調査》



《ウチダザリガニ個体数推定調査》



《春採湖風景》

子育て施設の緑化推進・土とふれあう食育推進事業 【東京都国分寺市】

事例紹介

重点分野
雇用創出事業
【環境・エネルギー分野】

私達の障害者地域活動支援センター「オハナ」は国分寺市の緑化推進事業や市立公園の清掃・除草事業を受託し、障害者の就労支援を行っています。今回の壁面緑化、食育の推進は私達の法人の日常業務に近い内容であり、利用者の人達の社会貢献と社会交流・参加を促進する機会にもなるのではないかと期待して受託しました。子育て施設からの感謝の言葉を頂き、皆働く喜びを実感しております。



特定非営利活動法人 Ohana 春口理事長

事業概要

市内の子育て施設(33ヶ所)の壁面緑化等を進めるとともに、児童が野菜を苗や種から栽培することを通じて、食育の推進を図る。また、事業実施を障害者団体に委託することにより、新たな雇用を創出し、障害者と健常者の相互理解を深める。

委託先

特定非営利活動法人
Ohana

新たな雇用創出数

7人

事業費

約1,018万円

事業の開始

平成22年4月～

東京都国分寺市



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

東京都 0.62倍(季節調整値)

主な業務内容

《緑化推進事業》

子育て施設の壁面等の緑化を推進する。

《食育推進事業》

児童が野菜を苗から育て、栽培することを通じて食育の推進を図る。

《雇用創出事業》

上記の活動を通じ、離職を余儀なくされた非正規労働者、失業者に対し、次の雇用までの短期雇用、就業機会を創出・提供する。



ミニトマトの栽培



壁面緑化用に育てられたゴーヤ



スタッフの声

今日はミニトマトで何作る？
スパゲッティ？

浴光保育園

事業の様子

にしまち児童館



たくさん野菜が実るように大切にお世話をします。

子どもたちと一緒にミニトマトに水やりを！

今日も暑いですが、少しでも涼しく過ごしてもらえると嬉しいです。



弦がしっかり巻きつくように、手入れは欠かせません！

市内の保育園など子どもの施設に花や緑が広がっていくのがすばらしいと思います。野菜を育てる経験を経ることが自分の今後について考えるいい機会にもなっています。NPO法人の利用者さんたちとふれあうことで得るものもたくさんありますよ！



沢田 恵子さん



壁面緑化前



壁面緑化後

市担当者の声

「地域のつながりが希薄」と言われる昨今において、本事業が障害者・健常者・子どもと大人がふれ合う場となっており、今後このような「つながり」がさらに広がっていくことを期待しております。
(国分寺市子ども福祉部保育課保育係 中島 健太郎さん)

今後の姿と課題

- ・実践を通じて、食への興味を持たせる。
- ・緑化を推進し、環境への配慮を行う。
- ・障害者の一般就労の機会の増加。また就労に向けた支援の充実化。

夏は酷暑が和らぎ涼しいです！



壁面緑化用に育てられたゴーヤが大きく実りました！

浄化槽法定検査受検促進事業

【石川県】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 【環境・エネルギー分野】

浄化槽の法定検査は、人間の体にたとえると「浄化槽の健康診断」にあたると思います。
この事業を通じて、雇用の創出が図られることに加え、県民の皆様は浄化槽の法定検査の必要性をご理解いただき、公衆衛生の向上、石川県の河川・湖沼・海域がさらにきれいになることを期待しています。



(社)石川県浄化槽協会の検査員

事業概要

雇用された「浄化槽法定検査説明員」が検査未受検者を戸別に訪問し、浄化槽の保守点検、清掃に加え法定検査の必要性を説明し、理解を得る。

委託先

社団法人石川県浄化槽協会
(事務所;石川県金沢市)
従業員数11人

新たな雇用創出数

4人

事業費

約350万円(平成21年度)

事業の開始

平成22年4月～

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

石川県 0.54倍
(季節調整値)

業務内容

浄化槽法定検査の未受検者リスト及び訪問日程の作成、訪問対象を住宅地図に明記

4名の説明員が訪問日程に従い戸別訪問。在宅の場合は資料等により検査の必要性などを説明。不在の場合は不在連絡票と関係資料をポストイング。

帰庁後、不在者には電話で説明。毎日の訪問結果のとりまとめ、翌日の訪問の準備。



説明員のみな
さんの声

慣れない仕事で大変ですが、故郷の環境を守るために張っています。



説明員
Nさん

戻ってからのデータ整理も大変です。



説明員
Tさん

厳しいご意見、ご質問もありますが、子や孫達にきれいな川を残すために丁寧に説明したいと思っています。



お客さまからの
声

わかりやすく説明していただいたので、少しは法定検査のことがわかりました。

これまでに500基近くの検査申込をいただき、まずは順調な滑り出し。

最初は不審な人？かと思いましたが、笑顔を見て安心しました。

今後の姿と
課題

説明員の訪問日程の事前周知や住民からの問い合わせへの対応など、市町や県、保健所との一層の連携が大切です。



《説明員が持参する資料》

《説明員の努力で毎日検査申込があります。》

事例紹介

重点分野雇用創出事業

【環境・エネルギー分野】

当機構のミッションは、地域資源(自然資源、人的資源、社会的資源等)を有効に、かつ持続可能に活用しながら地域を再生することです。日本の、そして地域のエネルギー自給率はわずか数%で、地域のエネルギーのほとんどは地域の外で作られ、お金だけが地域外に流出しているのが現状であります。従いまして、地域でわずかでもエネルギーを自給できれば地域経済に及ぼす影響はかなり大きいと考えています。

今回当事業に応募し採用されたことで、幸いにも素晴らしいスタッフに恵まれることとなりました。2名とも大変意欲を持って業務を進めており、今年度中に明確な再生可能エネルギー活用モデルを作りたいと考えています。



特定非営利活動法人
地域再生機構 理事長
駒宮 博男 さん

事業概要

地域における再生可能エネルギー活用の成功例づくりのための実現可能性の高い企画の提案を通じて、今後市場拡大が見込まれるエネルギー分野の新たな雇用機会の創出を図る。

委託先

特定非営利活動法人
地域再生機構
(所在地:岐阜県岐阜市)

新たな雇用創出数

2人

事業費

約1,071万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年5月～

岐阜県



地域雇用失業情勢 (平成22年5月時点)

岐阜県 0.59倍(季節調整値)
ハローワーク岐阜管内
0.63倍(原数値)

業務内容

企画提案業務:地域の小水力等の再生可能エネルギーを、その地域の産業や生活に活用する仕組みを取りまとめる。

情報収集業務:県内各地域における再生可能エネルギーの活用に関する取り組みを、事例集としてまとめる。

相談業務:「クリーンエネルギー相談センター」を開設し市町村・事業所・県民等からの問い合わせに対応する。

普及啓発業務:環境フェア等への出展、本事業の成果を含めたフォーラム、セミナーを開催。



《第30回全国豊かな海づくり大会》
「せき海づくりフェスタ」への出展

相談センター
窓口の相談員
のみなさん

県民等からのお問い合わせを電話、電子メールで受け付け。HPに代表的なQ&Aを掲載。



相談員
浅井富治さん

新しい世界ですが面白そうです。これまでの経験と照らし合わせながら、自分が住んでる地域をみつめ地域の未来と自分の将来を考える機会にしたいと思っています。



相談員
森大顕さん

地域への再生可能エネルギー導入を契機とした地域再生への取り組みのお手伝いをできればと考えております。



《代表的なQ&Aを掲載するHP》

再生可能エネルギーに関する県民からの声

県民からは、再生可能エネルギー導入に向けてコスト等の具体的な問い合わせが多く、本業務への期待が大きい。

導入に必要なノウハウがないため、相談に乗ってほしい。

地域に再生可能エネルギーを導入するために、力になってほしい。



《先進地への地域の方々との視察》

今後の姿と課題

相談員が、地域の人々と一緒に、再生可能エネルギーの活用について企画立案を取りまとめます。いかに県内に普及可能なモデルとしていくかが課題です。



事務局長
平野彰秀さん

経験豊富な、優秀な2名のスタッフが、我々の仲間として参加してくれ、大変うれしく思います。本事業を通じて、岐阜県における再生可能エネルギーの普及に取り組んで参ります。

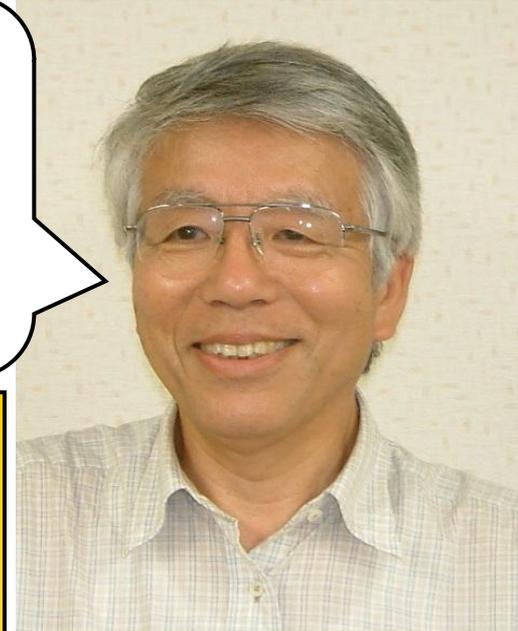


《有望なエネルギーとして期待される小水力発電機》

事例紹介

重点分野雇用創出事業
【環境・エネルギー分野】

私たちはグリーン購入の意義を広め、取り組む人や企業を増やすための様々な事業を進めていますが、予算上等の問題から企画した事業をあきらめざるを得ないこともあります。今回、7つの地域講座開催というグリーン購入を広める絶好の機会と、フレッシュな新スタッフとにめぐり会えて事務局のメンバーも張り切っています。



滋賀グリーン購入ネットワーク
代表幹事
土屋 正春さん

事業概要

循環型社会の実現に向けて、県民や団体、企業、行政を対象に「グリーン購入」を促進するための実践的な内容の地域講座を開催し普及促進を目指す。

また、雇用された職員については、この事業の企画立案等を担当しながら、「グリーン購入」を通じ、事業者支援する手法を身につけるなどスキルアップを図り、人材育成へと繋げる。

委託先

滋賀グリーン購入ネットワーク
(滋賀県大津市松本1丁目2-1)
会員数 約450団体

新たな
雇用創出数

1人

事業費

413万円

事業開始

平成22年4月～

事業内容

県内を7ブロックに分け、各地域において、「グリーン購入」の基礎研修やテーマ毎の講演会、意見交換会、見学会などといった地域講座の実施。

滋賀県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

滋賀県 0.46倍 (季節調整値)

担当者の声



滋賀グリーン購入ネットワーク 新スタッフ

大森 聖朗さん

兼ねてから環境に興味があり、その分野に関連する職場で働かせていただき、非常にうれしいです。

活気あふれるメンバーの中で、県下7つの地域で講座を行う事業をやらせていただき、ものすごくやりがいを感じております。

一日があっという間に過ぎるほど早く、学ぶべきことがたくさんあり大変ですが、頑張っていきたいと思います。

ところで、「グリーン購入」ってなんのことが知ってますか？



滋賀GPN マスコットキャラクター
エコペン

「グリーン購入」とは、商品を買ったり、サービスを利用するときに、必要性を十分に考えたうえで、できるだけ環境への負荷が少ないものを優先して選ぶことをいいます。

たとえば、包装のできるだけ少ない商品を選ぶ、詰め替え式の洗剤やシャンプーを買う、家電製品を買うときには省エネタイプを選ぶなど、これらも「グリーン購入」です。

誰もが日常生活で取り組めることが、たくさんあるのです。



担当者の業務風景

事業の実施状況

第1回目の講座を開催し、20人にご参加をいただきました。

今後も、県内残り6ブロックでの地域講座の開催を実施していきます！

専門の講師による、熱い講演でした！



受付にもチャレンジ！



本日はご参加いただきありがとうございます。
ます。



そうだったんだ。

グリーン購入かあ、なるほど。

滋賀県では、従来から「グリーン購入」の推進に力をいれ、組織的に取り組んでおります。

今年度、この事業を通して、県民や企業の方々、行政の方に「グリーン購入」を実践していただき、また、環境負荷の低減にも繋がることを知ってもらえるよい機会になればと思っております。

今回、この事業をお願いしました滋賀グリーン購入ネットワークは、滋賀県と共にこの「グリーン購入」を推進するために頑張っています。

興味のある方は、以下のHPをご覧ください。

<http://shigagpn.gr.jp/>

滋賀県担当者の声

マンガース生息確認調査・防除事業 【鹿児島県】

事例紹介

重点分野雇用創出事業 〔環境・エネルギー分野〕

平成21年6月、日本では奄美大島と沖縄本島のみには分布しているとされていたマンガースが、鹿児島県鹿児島市内にも生息していることが確認されました。外来生物であるマンガースを放置すれば、地域の生物相への影響や農業被害が発生する恐れがあります。鹿児島県では、マンガースの生息情報の早急な把握及び効果的な防除を本事業により進めています。

事業概要	鹿児島市喜入地区で生息が確認された、外来生物マンガースの生息状況を調査するとともに、防除を実施する。		
委託先	(財)鹿児島県環境技術協会 鹿児島市七ツ島;従業員数119人	新たな雇用創出数	4人
事業費	約1,000万円(平成22年度)	事業の開始	平成22年4月8日～



業務内容	地元での聞き取り調査・アンケート調査・自動撮影調査などによる生息情報の収集
	情報をもとに、耕作地・草地・竹藪・山林などに生け捕り罠をしかけての捕獲
	大学教授など専門家を交えての検討会による、より効果的な対策の検討



罠にかかったマンガース

調査員
より..

雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けず、マンガースを追い続けています。

辛いことも多いのですが、やりがいのある仕事です。鹿児島のために頑張ります。

工夫を重ね、直感を磨いて、1日も早い根絶を目指します。

マンガース調査を通して、農業のこと、他の鳥獣のことなど、地域のこと幅広く見えてきます。

地元の方が良く理解して、協力して下さるのでありがたいです。

今後の姿と
課題

生息情報の多いところを中心に、周辺地域にいたるまで、できる限り多くの罠をしかける。新しい生息情報の収集も続け、この地域からの根絶を目指す。



チームリーダー 岡田滋さん

マンガースとの戦いは、思うようにいかないことばかり。「イタチごっこ」ならぬ「マンガースごっこ」ですが、最後には勝利すると信じています。



やぶに分け入った調査



毎日の罠の点検



罠の設置